

平成 2 0 年度

社団法人 全国大学体育連合

事業報告書

## 平成20年度 事業活動報告

常務理事会

### テーマ

#### 大学体育教育の充実と社会的貢献

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 評価事業の推進      | FD推進部             |
| 2. 資格制度の検討      | 資格制度検討委員会         |
| 3. 研修会の推進充実     | 研修部               |
| 4. 新規会員 賛助会員 勧誘 | 総務部               |
| 5. 会費問題の検討      | 将来検討特別委員会         |
| 6. 公益法人更新手続きの検討 | 総務 (プロジェクトチームの構成) |

### 推進事業

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 1. 関連団体との協力事業の促進    | 総務部          |
| 2. 研修会 資格認定 の試行     | 資格制度検討委員会    |
| 3. 教育研究論文誌の充実       | 教育研究論文誌編集委員会 |
| 4. HP・メールニュースの充実と活用 | 情報企画部        |
| 5. 若手 (役員 運営委員) の育成 | 全体           |
| 6. 支部研修活動の支援        | 研修部          |
| 7. 研究 調査            | 情報企画部        |
| 8. 体育学会共催シンポジウムの実施  | 情報企画部        |
| 9. 適正な会計処理          | 総務部          |
| 10. 大学体育の諸問題        | 情報企画部        |
| 11. 大学体育綱領検討        | 将来検討特別委員会    |

以上

## 平成20年度 総務部事業報告

本年度の基本方針は「本連合の円滑な運営、定款改正に伴う諸規定見直しと新規会員募集への取り組み」である。

### 会議関係等

#### 総会、理事会、常務理事会、支部長会、部長会

平成20年 4月18日 第1回常務理事会 第1回部長会  
5月16日 第2回常務理事会 第2回部長会  
5月16日 第3回常務理事会  
6月20日 第4回常務理事会 第3回部長会  
7月18日 第5回常務理事会 第4回部長会  
8月21日 支部長会  
9月19日 第6回常務理事会 第5回部長会  
10月24日 第7回常務理事会 第6回部長会  
11月21日 第8回常務理事会 第7回部長会  
12月12日 第9回常務理事会 第8回部長会  
平成21年 1月23日 第10回常務理事会 第9回部長会  
2月24日 第11回常務理事会 第10回部長会  
3月10日 第12回常務理事会 第11回部長会  
3月23日 通常総会 理事会

### 監査

平成20年 5月14日 平成19年度収支決算監査  
平成21年 3月 5日 平成20年度収支精算監査

### 部会：

第1回 5月7日 17:30~ 青山学院大学  
第2回 6月6日 18:30~ 早稲田大学  
第3回 7月4日 18:25~ 早稲田大学  
第4回 12月17日 18:00~ 学習院大学  
第5回 1月14日 18:00~ 学習院大学  
第6回 2月23日 14:00~ 学習院大学

第1回社会貢献フォーラム打ち合わせ 10月23日 18:00~ 青山学院大学  
第2回社会貢献フォーラム打ち合わせ 11月14日 18:00~ 青山学院大学

### 事業関係等

#### 事務の適正な運営

会計処理（税務処理を含む）の適正な執行（公認会計士へ支援を委託）  
本年度、井上理事が会計を担当した。

#### 各支部との連携

本年度の中央研修会が夏季において北陸支部が主管で行われた。  
また、その際、支部長会議を実施し、各支部との意見の交換を行った。

#### 会員データベースつくりの促進

本年度も昨年同様、会員の連絡先の確認（各大学の担当者 連絡先の確認作業）を

実施した。

関連諸団体や社会への情報発信

連合の活動を理解していただくために、適宜パンフレット等を送付。

賛助会員及び協賛企業の掘り起こし

賛助会員の継続を依頼した。

機関誌 報告書バックナンバーの管理等

公益法人

文部科学省の説明会に参加し、状況の把握と情報の収集を行った。

また、総務部主催で講師を招いて勉強会を実施した。

社会貢献フォーラムを実施した。

#### 会員数 (平成21年 1月31日現在)

		前年 1月 31日
国公立総合大学	47	49
国公立単科大学	22	23
私立総合大学	106	102
私立単科大学	130	136
短期大学	67	74
個人	59	55
計	431	434

賛助会員                      3                      3

#### 事務所の業務曜日等

業務曜日 月～金曜日 (午前10時～午後4時)の5日制。

職員 : 下野朋子、想田恭子

#### 構成員

部長 : 宮崎正己 (早稲田大学)

副部長 : 井上直子 (青山学院大学)

委員 : 飯野要一 (東京大学)、重城哲 (日本大学)、高丸功 (学習院大学)

松垣紀子 (東京大学)、村山光義 (慶應義塾大学)

## 平成20年度 会員異動一覧

### 1.新会員

#### 1) 大学会員

帝京平成大学 (私立総合 関東支部)  
太成学院大学 (私立総合 近畿支部)  
清和大学 (私立単科 関東支部)  
松本大学 (私立総合 関東支部)  
大阪産業大学 (私立総合 近畿支部)  
愛知東邦大学 (私立単科 東海支部)  
北陸学院大学 (私立単科 北陸支部)  
九州共立大学 (私立総合 九州支部)  
環太平洋大学 (私立総合 中四国支部)

#### 2) 個人会員

清水 利佳 (個人 東海支部)	鈴鹿国際大学
加藤 恵子 (個人 東海支部)	名古屋文理大学短期大学部
渡邊 陵由 (個人 東北支部)	八戸大学
成瀬 和弥 (個人 関東支部)	東京福祉大学
高橋 保則 (個人 近畿支部)	大阪電気通信大学
高橋 光平 (個人 関東支部)	城西国際大学
丸井 一誠 (個人 九州支部)	福岡大学
村上 郁磨 (個人 九州支部)	久留米大学
中山 正剛 (個人 九州支部)	九州大学

#### 3) 賛助会員

なし

### 2 会員種別の変更

平成20年度より、大学統合のため九州東海大学、北海道東海大学、東海大学が東海大学 (私立総合 関東支部) 1校となる。  
名古屋学芸大学短期大学部 (短大 東海支部) 名古屋学芸大学 (私立総合 東海支部) 短大そのものはあるが、担当の先生の所属が大学になったため。  
井上 広国 (個人 東海支部) 本多 広国 本人届出

### 3 退会員

#### 1) 大学会員

京都府立大学 (国公立単科 近畿支部) 大学の組織 機構改革などに伴う諸般の理由により  
神戸海星女子学院大学 (私立単科 近畿支部) 事情により  
近畿大学豊岡短期大学 (短大 近畿支部) 事情により  
大阪音楽大学 (私立単科 近畿支部) 18歳人口の減少など、大学を取り巻く環境が厳しい状況により  
青森大学 (私立総合 東北支部) 諸般の都合により、平成20年3月をもって  
奥羽大学 (私立総合 東北支部) カリキュラム上、保健体育に関する科目が希少であること、体育の専任教員が在籍していないことより  
横浜市立大学 (国公立総合 関東支部) 経費削減が急務であること、財政状況が厳しくなっているため

東横学園女子短期大学 (短大 関東支部) 平成 20年度より募集停止となったため  
京都短期大学 (短大 近畿支部) 教育 研究の見直しを図るため  
鳥取短期大学 (短大 中四国支部) 当初の入会目的を達成したと判断したため

## 2)個人会員

相原 朋枝 (個人 関東支部) 退職により退会

中川 直樹 (個人 関東支部) 平成 20年 4月 1日を以って産業能率大学 (会員校) に  
移籍するため

柳川 郁生 (個人 東北支部) 会費の捻出において、大学予算の規定上、研究費での充当が不可となっ  
たため

金子 嘉徳 (個人 関東支部) 諸般の都合により

以上

## 平成 20年度 研修部事業報告

### 基本方針

研修事業の支援とメディア教材の編集および作成

### 会議関係

研修部会 13回

中央研修会の内容検討及び支援。推薦図書等の検討。DVD教材の制作 編集作業などを行った。

支部支援補助金の検討。

### 事業関係

1.バドミントンのDVD教材の制作 出版を行った。

2.平成 20年度中央研修会を実施した。

主催：(社)全国大学体育連合

主管：全国大学体育連合北陸支部

日程：平成 20年 8月 19日(火)～ 21日(木)

場所：立山国際ホテル

種目：山歩き

参加者数：60名(講師、役員含む)

3.平成 20年度中央研修会事前打ち合わせを行なった。

主管：全国大学体育連合中四国支部

日程：平成 20年 8月 21日(金)～ 23日(日)

研修会テーマの検討：フライングディスク、フットサル、バドミントン、ゴルフ、複合体験

宿泊予定先の見学：ホテルニュータナカ

4.推薦図書

「泳ぐことの科学」吉村 豊、小菅達男、NHKブックス

「介護予防の健康科学」波多野義郎編著、不昧堂出版

### 構成員：

部長 佐藤 健(実践女子大学)

副部長 野崎大地(東京大学) 村本和世(日本体育大学女子短期大学部)

委員 渡辺英次(八戸大学) 掛水隆(電気通信大学) 高橋京子(早稲田大学)

以上

## 平成 20年度情報企画部事業報告

### ・基本方針

大学体育に関する調査研究の実施や内外の情報収集の成果を広く速やかに会員に提供する。

### ・会議関係

定例会 6回開催。継続研究会議 4回。

### ・事業関係

#### 1. ホームページ更新とメールニュース発送の管理・運営 (担当: 工藤副部長)

##### (1) ホームページ上のニュース

更新項目 月 最小 3 ・ 最多 18

アクセス数 月 最小 7483(9月) ・ 最多 11,474(5月) 初の 1万回突破

##### (2) メールニュース「DATA REN情報」

発送項目 月 最小 5 ・ 最多 17

#### 2. 継続研究の実施

##### (1) 保健体育教育実態調査研究 (担当: チーフ山里副部長 松井 二宮)

全大学 短期大学 (119校) に対するアンケート調査実施、報告書発行。

##### (2) 体力測定結果調査研究 (担当: チーフ松本副部長 太田 山本)

屋内測定項目のみの総合評価の検討、武蔵丘短期大学データでのシミュレーション実施。

#### 3. 日本体育学会とのシンポジウム共催 (担当: 師岡部長)

##### (1) 9月 11日早稲田大学にて開催、約 280名参加。

テーマ 「大学体育危機の課題 大学基準協会評価項目変更と教養体育」

～ これからの学士課程教育における体育のあり方の検討～

問題の重要性 (第 5の波) と今般の対応について 大体連理事長 山田 茂 (東京大学)

認証評価のあらましと認証評価機関の評価項目 大体連 FD推進部長 小林勝法 (文教大学)

発表: 財 大学基準協会特任研究員 元相互評価委員会委員長 生和秀敏 (広島大学)

独 大学評価 学位授与機構理事 元評価研究部長 川口昭彦 (東京大学)

社 日本体育学会会長 小林寛道 (東京大学)

コーディネーター 大体連 FD推進部長 小林勝法 (文教大学)

情報企画部長 師岡文男 (上智大学)

##### (2) 次年度の企画の検討、日本体育学会との交渉開始。覚書の締結。

#### 4. 第 5回 CHPER・SD 世界大会後援・参加

2008年 5月 9- 13日鹿屋体育大学と霧島高原で開催された第 5回国際保健体育レクリエーション・スポーツ・ダンス協議会 (CHPER・SD) 世界大会に後援団体として 2名を派遣 (太田あや子 山本恵弥里部員) 山田理事長・師岡情報企画部長は自費参加した。ブースを開設し、英文パンフレットを配布すると共に体力測定結果調査のポスター発表 2件を行った。大会後の最終組織委員会にて、「CHPER・SD - Japan」が今回の後援 4団体 (日本体育学会・日本生涯スポーツ学会・日本測定評価学会と本連合) で結成された。

#### 5. 国際スポーツ科学・体育協議会 (ICSSPE)への加盟と情報収集 (担当: 師岡部長・寺田)

国際情報を増強するために ICSSPE (国際スポーツ科学 体育協議会) にも加盟し、海外の情報収集に努め、ホームページやメールニュースで海外情報を発信した。

### ・構成員

部長 師岡文男 (上智大学)

副部長 山里哲史 (東京女学館大学)・松本秀夫 (東海大学)・工藤和俊 (東京大学)

委員 太田あや子 (武蔵丘短期大学)・松井泰二 (東京工科大学)

寺田佳代 (国際基督教大学)・山本恵弥里 (東海大学非常勤講師)

二宮雅也 (上智大学)

以上

## 平成20年度 編集部事業報告

### .基本方針

『大学体育』9号(6月発行)ならびに9号(12月発行)の編集にあたる。これに際し、ホームページをはじめとする他の広報媒体との相異や関連性を考慮し、内容精選と意匠等の改善に努める。

### .会議関係

編集委員会の開催(メール会議を除く)

6月13日(金)16:30~18:00 東京大学(駒場)

11月25日(火)18:00~20:00 立教大学(池袋)

### .事業関係

1. 大体連機関誌『大学体育』9号(第3巻1号)編集発刊

2. 大体連機関誌『大学体育』9号(第3巻2号)編集発刊

3. 1、2に関わる取材出張(原稿執筆依頼、録音、撮影)

(1) 総会 早稲田大学(高田馬場)平成20年3月23日(月)

(2) 緊急集会 東京大学(駒場)平成20年7月26日(土)

(3) 中央研修会 立山国際ホテル 平成20年8月19日(火)~21日(木)

(4) 体育学会 早稲田大学(高田馬場)平成20年9月11日(木)

### .構成員

部長 嵯峨 寿(筑波大学)

副部長 鈴木淳平(駒澤大学)

副部長 沼澤秀雄(立教大学)

委員 後藤光将(明治大学)

成瀬和弥(東京福祉大学)

以上

## 平成 20年度 FD推進部事業報告

### 基本方針

大学体育教育賞 奨励賞表彰制度や大学体育研究助成、大学体育 FD推進校表彰制度、調査研究などによって会員のFD活動を推進する。

### 会議関係

定例委員会 4回開催

審査委員会 4回開催

### 事業関係

#### 1. 大学体育教育賞・奨励賞

平成 20年度の表彰対象者の推薦依頼と審査の事務を担当した。大学体育教育賞に 1件の推薦があり 審査の結果、以下の通り表彰することが常務理事会で決定した。

木内敦詞氏 (大阪工業大学) 『行動科学に基づく体育プログラムが大学新生の健康度・生活習慣に及ぼす効果』Project FYPE, 体育学研究 5巻 2号 pp.329-341.2008

#### 2. 大学体育研究助成

平成 19年度に交付した研究課題の報告書 論文 を受け付け、平成 20年度に交付する研究課題の監督管理、および平成 2年度に交付する研究課題の募集と審査の事務を担当した。

平成 2年度の研究助成には 11件の応募があり 以下の 5件に助成することが常務理事会で決定された。(このほかに次点として 1件)

丸井一誠 (福岡大学) ほか 4名、学士教育における体育の効果とその「持続性」に関する縦断的研究」

松本裕史 (武庫川女子大学) ほか 1名、体育の宿題が女子学生の日常身体活動量および身体活動の心理的変数に及ぼす影響」

池上久子 (南山大学) ほか 5名、「コースラウンドを伴うゴルフ実習におけるスイング技術の習得状況」

北 徹朗 (個人会員、関東支部) ほか 1名、「大学体育授業におけるホームワーク導入の試み」

安井年文 (青山学院大学) ほか 5名、「大学体育授業としてのゴルフ授業の検討」

#### 3. 大学体育 F D推進校表彰の実施

4校から応募があり 審査の結果、以下の 4校を表彰候補として常務理事会で決定した。

(1) 青山学院大学

(2) お茶の水女子大学

(3) 防衛大学校

(4) 埼玉女子短期大学

#### 4. 調査研究

以下の調査研究を行い、機関誌に報告した。

(1) FD活動に関する実態調査 『大学体育』9号、92号

**構成員**

部長 小林勝法 (文教大学)  
副部長 田中博史 (伏見文化大学)  
奈良雅之 (目白大学)  
森田 啓 (千葉工業大学)  
委員 富本 靖 (昭和女子大学短期大学部)  
山内 賢 (慶應義塾大学)  
平田智秋 (什文字学園女子大学)  
柳田泰義 (神戸大学)

以上

## 平成20年度 教育研究論文誌編集委員会事業報告

### 基本方針

教育研究論文誌『大学体育学』の充実

### 会議関係

メール会議 回 (投稿論文の報告と査読のお願い)

### 事業関係

#### 1. 『大学体育学』第6号の発刊

今年度の投稿論文は10編であり、原著論文 3編、研究資料 4編、実践報告 1編となった。

< 原著論文 >

##### (1) 木内敦詞、荒井弘和、中村友浩、浦井良太郎、橋本公雄

体育実技終了時のセルフ・モニタリングが運動の意思決定バランスと身体活動量におよぼす効果

##### (2) 袁内 豊

運動に対する主観的評価と感情変化の関係

##### (3) 橋本公雄

健康・スポーツ科学演習』の授業で人間関係は醸成されるか？

##### (4) 角南良幸

大学体育実技のためのSAQ関連体力測定および評価法の検討

～過去の運動経験が及ぼす影響と標準値の作成～

##### (5) 西田順一、橋本公雄、山本勝昭

『大福帳』を用いて対人コミュニケーションスキル支援を意図した大学体育実技が初年次学生の大学適応感に及ぼす影響

< 研究資料 >

##### (6) 片岡義則

21世紀初頭における中国の大学体育カリキュラムの特色について

##### (7) 平田智秋、山本 悟、坪倉紀代子

女子大学の必修体育実技における運動負荷と気分の変容

##### (8) 出雲輝彦、木幡日出男、川北準人

外国人留学生の大学入学以前の体育・スポーツ経験に関する調査研究

##### (9) 西田順一、橋本公雄

初年次学生の対人コミュニケーションスキル改善を意図した生涯スポーツ教育プログラムの心理社会的有効性

< 事例研究 >

##### (10) 森田 啓

JABEに対応した教養教育としての体育授業・学習 教育目標の統一と教育実践

#### 2. 投稿規定の改正

将来検討特別委員会より『大学体育学』の論文転載に関する検討依頼があり、常任理事会において投稿規定の中に著作権の項目を設けることで対応した。

#### 3. 査読のお願い

今年度は投稿が多かったため、委員の先生方以外に常務理事の先生方と、村山光義(慶応大学)、大石和男、佐野信子(立教大学)先生に査読をお願いした。

**. 構成員**

委員長	沼澤秀雄 (立教大学)
副委員長	嵯峨 寿 (筑波大学)
常任委員	杉山 進 (お茶の水女子大学)
常任委員	友添秀則 (早稲田大学)
常任委員	杉山千鶴 (早稲田大学)
常任委員	丸山剛生 (東京工業大学)
委員 (北海道支部)	蓑内 豊 (北星学園大学)
委員 (東海支部)	山本裕二 (名古屋大学)
委員 (近畿支部)	小田伸午 (京都大学)
委員 (中四国支部)	鈴木久雄 (岡山大学)
委員 (九州支部)	角南良幸 (福岡女学院大学)

以上

## 平成 20年度将来検討特別委員会事業報告

### .基本方針

今後の大学体育の将来構想を検討する。

### .会議関係

第 1回 平成 2年 2月 9日 (月) 18:30~ 20:30

第 2回 平成 2年 3月 2日 (火) 11:00~ 13:00

### .事業関係

#### 1.会費問題の検討

校種別会費徴収の問題について、今後の対策を提案し、複数のモデル案を提示した。

校種による年会費の適正金額の徴収については、現在校種に見合った金額を納入している会員の利益を守るためにも適正金額の徴収に努める。

適正金額徴収の時期については、公益(一般)法人化の年度からとする。

年会費の金額については、現在「単科大学」で会費を納入している複数学部を持つ「総合大学」が存在していることから、学部数を勘案して現在の「総合大学」と「単科大学」の間にもう一つ校種を用意して 3段階に改訂する。

会費金額の案は別紙のとおり提案する。

#### 2.大学体育要領の検討

最新版を入手し、日本の大学体育への応用について検討した。

### .構成員

委員長： 太田あや子 (武蔵丘短期大学)

副委員長： 井上千枝子 (実践女子短期大学)

委員： 舛本直文 (首都大学東京)

森 正明 (中央大学)

高橋光平 (城西国際大学)

以上

(別紙)

### 平成 192年度将来検討特別委員会会費改定案

校種を3つに改訂し、年会費を以下のように改定する。

校種	定義	金額
総合大学A	(学部以上)	10万円
総合大学B	(学部、3学部)	6万円(単科大学から2万円の値上げ、 総合大学から4万円の値下げ)
単科大学		4万円(現行どおり)

以上

## 平成 20年度 大学基準協会関連プロジェクト報告

### .基本方針

大学基準協会の点検評価項目変更 (平成 20年度より) について、広く会員に知らせるとともに他団体と連携して対応する。

### .会議関係

本プロジェクトは平成 20年度第 4 回常務理事会 (6/20)にて設置された。

委員会 2 回開催 (7/5 11/25)

### .事業関係

#### 1. 緊急集会の開催

日本体育学会と共催で緊急集会「大学基準協会評価項目の変更をめぐって」(7/26 東京大学)を開催した。

#### 2. 日本体育学会共催シンポジウムの開催

大学体育危急の課題「大学基準協会評価項目変更と教養体育」と題するシンポジウムを9/11に早稲田大学で開催した。

#### 3. 報告書の作成と会員への広報

大学基準協会会長への質問状 (2/13)から始まった一連の活動を報告書にしてホームページに掲載し、メールニュースで会員に知らせた。

#### 4. 大学体育問題連絡会立ち上げ

本連合のほか、日本体育学会、日本女子体育連盟、日本体力医学会、体育系大学学長・学部長会で大学体育問題連絡会を結成し、これらの5 団体が協力していくことになった。

### .構成員

山田 茂 (東京大学)

杉山 進 (お茶の水女子大学)

枝村亮一 (国土館大学)

師岡文男 (上智大学)

沼澤秀雄 (立教大学)

奈良雅之 (目白大学)

小林勝法 (文教大学)

以上

# 平成 20年度 資格制度検討委員会事業報告

## I.基本方針

当委員会は、昨今の大学体育の現状を鑑み、研修会の新たな取り組みとしてスポーツ 身体運動の個々の教授内容を整え、科学的な理論のもとに実践 指導のできる指導者の養成について検討することを目的とする。

## II.会議内容

### 資格制度検討委員会

教養体育の在り方

大学体育連合における役割と研修会内容

カリキュラム委員会設置の要望

指導者養成のあるべき姿

コーディネーターの選出

指導者養成委員会の設置 指導者養成の規定 要綱の作成

指導者養成研修会の試行

資格制度検討委員会は発展的な指導者養成委員会として全国大学体育連合認定指導者養成委員会の設置を要望する。

新たにコーディネーター委員会の設置を要望する。

### カリキュラム委員会

大学体育の授業の在り方

模範授業の研修

コーディネーターの必要性

模範授業と研修とコーディネーターの研修

## III.指導者養成研修会試行

### 全国大学体育連合指導者養成研修会（試行）

主催 全国大学体育連合

開催日時 平成 21年 3月 24日 ~ 3月 26日

開催会場 東京大学教養学部 生協 3階 交流ラウンジ

交通機関 京王井の頭線 駒場東大前 渋谷駅から27分 (各駅停車)

**3月 24日**

開会式 挨拶 理事長 山田 茂 東京大学

研修会説明 次期指導者養成委員長 沼澤 秀雄 立教大学

実技講習会

9時 ~ 6時 大学体育の授業づくり(指導内容は下記に示す)

講師 岡出 美則 筑波大学

**3月 25日**

講義 シンポジウム プログラム

講 義

9時 00分 大学の体育授業に役立つ健康科学

講師 田畑 泉 国立健康 栄養研究所

10時 30分 大学の体育授業に役立つ健康科学

講師 佐々木 敏 北星学園大学

昼 食 生協

13時00分 冬季授業 スケートに関する科学的な研究と指導のポイント

講師 熊川 大介 国土館大学

14時00分 大学体育 スポーツ活動の事故と法的責任

講師 井上 洋一 奈良女子大学

シンポジウム

タイトル :これからの大学の体育授業はいかにあるべきか？

15時30分 司会 杉山 進 お茶の水女子大学

シンポジスト

高橋 健夫 日本体育大学大学院

友添 秀則 早稲田大学大学院

池田 延行 国土館大学

川原 貴 国立スポーツ科学センター

夕食

18時00分 生協

講義

19時00分 最新のスポーツ科学

講師 平野 裕一 国立スポーツ科学センター

**3月26日**

講習会

大学体育の授業づくり(指導内容は下記に示す)

講師 岡出 美則 筑波大学

修了証授与式

閉会式 挨拶 沼澤 秀雄 立教大学

## (社)全国大学体育連合指導者養成研修会の実技講習会内容 (3月24日と26日の予定表)

### 実技講習会課程

授業評価の観点と手続き、さらには授業創りの過程にみられる教師の共同的な省察過程と模擬授業と関連する具体的な映像を使いながら検討していきます

- 1 実技 講義 体育の授業のイメージづくり授業の多様性と教師の嗜好性、教師に求められる知識を知る
- 2 実技 講義 授業の再現方法と体育授業の簡便な観察法 (教師行動、学習者行動)
- 3 実技 講義 教材、教具、教授行為の検討と多様な学習指導モデルの考え方
- 4 実技 講義 戦術学習モデルを踏まえたソフトバレーボールの学習指導案の検討
- 5 実技 講義 ソフトバレーボールの模擬授業を行う(1) オーバーハンドの指導方法の検討
- 6 実技 講義 ソフトバレーボールの模擬授業を行う(2) オーバーハンドの指導方法の検討
- 7 実技 講義 組織的観察法を用いた授業の再現と省察の方法
- 8 実技 講義 学習内容領域と学習指導方略
- 9 実技 講義 映像を踏まえた学習指導案の修正と修正版学習指導案のシミュレーション

10実技 講義 ソフトバレーボールの模擬授業 (3) 修正されたゲームづくりを活かす学習過程検討

11実技 講義 ソフトバレーボールの模擬授業 (4) 修正されたゲームづくりを活かす学習過程検討

12実技 講義 修正版学習指導案の成果の検討

### 構成員

#### 資格検討委員会委員

山田 茂 (東京大学大学院)

鳥居 俊 (早稲田大学)

工藤和俊 (東京大学)

川原 貴 (国立スポーツ科学センター)

久保田俊一郎 (東京大学)

伊藤静夫 (日本体育協会スポーツ科学研究室)

嵯峨 寿 (筑波大学)

平野裕一 (国立スポーツ科学センター)

村本和世 (日本体育大学短期大学部)

田畑 泉 (国立健康 栄養研究所)

重城 哲 (日本大学)

山内 賢 (慶応義塾大学)

杉山 進 (お茶の水女子大学)

#### カリキュラム委員会委員

友添 秀則 (早稲田大学)

小田伸午 (京都大学)

田畑 泉 (国立健康 栄養研究所)

山田 茂 (東京大学)

杉山 進 (お茶の水女子大学)

平野裕一 (国立スポーツ科学センター)

寺田 佳代 (国際基督教大学)

池田 延行 (国士舘大学)

以上

平成 2 0 年度

社団法人 全国大学体育連合

各支部事業報告書

## 平成20年度 北海道支部事業報告

平成2年 1月3日

### ・ 総会等会議

平成20年度総会

日 時 平成20年12月7日(日)15:30~16:30  
場 所 北海道教育大学岩見沢校多目的ホール  
内 容 平成19年度事業報告および決算  
平成20年度事業計画および予算

### ・ 研修会等事業

平成20年度北海道体育学会共催フォーラム  
「スポーツによる地域の活性化」  
岩見沢市における大学と地域の連携  
日 時 平成20年12月7日(日)  
場 所 北海道教育大学岩見沢校多目的ホール

冬期実技研修会 「ヒールフリースキー」(今後予定)  
日 時 平成2年3月1日(水)より3月13日(金)  
協 力 北海道教育大学旭川校  
場 所 〒044-0081  
北海道虻田群倶知安町字山田グランヒラフスキー場  
講 師 高梨 穰 さん他

世話役： 古川 善夫(北海道教育大学旭川校)  
佐々木 敏(北星学園大学)  
角田 和彦(北星学園大学)

以上

## 平成20年度東北支部事業報告

### 1. 20年度理事会 総会の開催

平成20年7月30日(月)に岩手大学にて開催し以下のことが承認された。

- ・平成19年度事業報告
- ・平成19年度決算報告
- ・平成20年度事業計画
- ・平成20年度予算計画

### 2. 秋期実技研修会の開催

平成20年9月18日(木)~19日(金)に大学体育指導者秋期実技研修会を実施した。参加者5名、指導者1名、本部スタッフ事務局2名、計8名の規模で実施した。天候に恵まれ、日中は実技、夜はビデオ分析や討議等により研修を深めることができた。残念ながら参加者が少なく、いかに参加者を増やすかが、来年度の課題となった。

以上

## 平成 20年度関東支部事業報告

### I. 総会等会議

#### 1. 総会

期日 平成 20年 7月 1日 (土)  
場所 武蔵工業大学世田谷キャンパス  
議題 平成 19年度事業報告及び決算  
平成 19年度事業計画案及び予算案  
その他

#### 2. 理事会

第 1回理事会 平成 20年 4月 26日 (土) 於 東京大学駒場キャンパス  
議題 平成 19年度収支決算書について、第 1回研修会について、他  
第 2回理事会 平成 20年 7月 1日 (土) 於 武蔵工業大学世田谷キャンパス  
議題 平成 20年度事業計画案及び予算案の確認、他  
第 3回理事会 平成 20年 11月 29日 (土) 於 東京大学駒場キャンパス  
議題 第 2回研修会について、他  
第 4回理事会 平成 20年 3月 14日 (土) (予定) 於 東京大学駒場キャンパス  
議題 次期関東支部理事会の体制について、他

### II. 研修会等事業

#### 1. 第 1回研修会

期日 平成 20年 7月 1日 (土)  
場所 武蔵工業大学世田谷キャンパス  
演題：健康づくり勉強会 ― 健康づくりのための運動基準と運動指針 2006から」  
講師 田畑泉先生  
参加者：22名

内容 健康増進プログラムリーダーとして運動基準や運動指針の策定に関して中心的な位置におられ、  
『メタボリックシンドローム解消ハンドブック』の編著者でもある、田畑泉先生を講師としてお招きし  
た。

まず田畑先生が真っ先に強調されたことは、今回の資料となった指針『健康づくりのための運動基準  
2006- 身体活動・運動・体力 - 報告書』と健康づくりのための運動指針 2006- 生活習慣病予防  
のために - <エクササイズガイド2006>』を広く世の中に広めていきたい、本研修会を通して大学  
生にもできるだけ伝えたいということであった。特に運動経験のない一般の人(学生)に伝える時、こ  
の指針は教える側の人間にとってもとても助かるものである。体育、ヒトのからだという不確実な領域  
に、少しでも確実性のあるこのようなエビデンスが必要なのだと、改めて考えさせられた。

#### 2. 第 2回研修会 (予定)

期日 平成 20年 3月 14日 (土)  
場所 東京大学駒場キャンパス  
演題：『ウォーキングセミナー Part2 ―身体運用法の可能性を探る―』  
講師 矢田部英正先生 (武蔵野身体研究所主宰)

氣田稔充先生 (日本ウォーキング協会 ルディックウォーク専門部会指導本部 専門技術委員)

内容：『ウォーキング』を日本文化の中で受け継がれてきた身体技法としての歩きとして、これに関する  
研究の第一人者である谷田部英正先生に講演及び実技指導をしていただく。続いて、『ウォーキ

ング」の新しいスタイルである「ルディックワーク」を氣田稔充先生に紹介していただく。日本で公開されてからまだ日が浅いが、急速に愛好者が増加していることを踏まえ、皆さんに提供することとした。以上の通り 今回の研修では、毎日使われる「歩く」という運動技術に関する理解を更に深め、それを運動手段として活用する際には、自分に適した歩き方が出来るようになることを目的とする。

### III. その他の事業

埼玉女子短期大学公開講座 中高年のための美しくなるメタボ解消法 「リフレッシュ健康体操」の共催  
【公開講座概要】

日時 平成 20年 9月 2日 (土) 13:30~ 15:30

場所 埼玉女子短期大学体育館

講師 原田律子 (埼玉女子短期大学非常勤講師)

アシスタント木浪友絵 (理学療法士)

内容 講師のあいさつから始まり、まず各自の体力を配布用紙の質問項目でチェックした。

運動前のストレッチを 種類行ってから「サイズボディ筋トレ」を 10種類行い、その後「メタボ解消筋トレ」を 5種目行った。更に講師が用意したチューブを使った筋トレを音楽にあわせて行い、その後部分引き締めを行った。

最後に運動後のストレッチを 種類行った。エクササイズはイスに座りながら行い、時にはイスの横や後ろに立ち、更に各自持参のタオルを敷いて床に寝ながら行った。原田講師が考案した各エクササイズの内容は模造紙で掲示したが、これをプリントでも欲しいとの要望があった。

最後に共催した (社)全国大学体育連合関東支部の天野理事と狐塚理事からあいさつがあった。参加者は 9名で、これに加えて大学体育連合理事が 2名と、本学教員が佐藤を含めて 2名参加した。大変和やかな雰囲気の中、講習会は終了した。

以上

## 平成20年度 東海支部 事業報告

### 総会等会議

平成20年度東海地区大学体育連合総会

日時：平成20年12月13日(土)

場所：南山大学名古屋キャンパス 体育センター

議題：1)平成19年度事業報告

2)平成19年度決算報告

3)平成20年度事業報告

4)平成20年度予算案の繰越金確定に伴う修正および収支報告(9月末時点)

5)平成21年度事業計画

6)平成21年度予算案

7)その他

### 第1回理事会

日時：平成20年4月26日(土)

場所：南山大学 名古屋キャンパス 体育センター

### 第2回理事会

日時：平成20年10月18日(土)

場所：南山大学 名古屋キャンパス 体育センター

### 第3回理事会

日時：平成20年12月13日(土)

場所：南山大学 名古屋キャンパス 体育センター

### 研修会等事業

#### 実技研修

平成20年度夏期実技研修会(東海・近畿地区合同開催)8名参加

開催期間：平成20年8月28日(木)～29日(金) 1泊2日 現地集合 解散

日程：28日(木)12:00～

びわこ成蹊スポーツ大学へ集合

開校式とオリエンテーション

マリンスポーツ実習の意義や琵琶湖の自然に関するレクチャー

実技研修

野外活動や大学体育を取り巻く現状についての情報交換会

29日(金)9:00～ 実技研修 12:00閉校式

場 所：びわこ成蹊スポーツ大学

研 修：水辺実習 ボートセーリングとカヤック

平成20年度冬期実技研修会(東海・近畿地区合同開催)38名参加(内指導者3名)

関東地区4名、北陸地区2名、近畿地区8名、東海地区2名

開催期間：平成20年12月26日(金)～28日(日) 2泊3日 現地集合 解散

日 程：26日(金)12:00～12:30 受付 13:00～開会式

13:00～実技研修

18:30～情報交換会

27日(土)9:00～実技研修、13:00～実技研修

15:30～級別テスト

19:30～ビデオを活用した指導法について

28日(日)9:00~実技研修、11:30~閉会式 解散  
場 所：平湯温泉スキー場(26・28日) ほおのき平スキー場(27日)  
宿 泊：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯 平湯プリンスホテル  
実技内容：1カービングスキーの上達法について  
2スノーボードの初心者及び初級・中級者の指導法について  
3ビデオを活用した指導法について

#### 課題研究

第1分科会 骨粗鬆症の予防に関する基礎的研究

-大学生の骨密度、身体活動量、体格、生活習慣に対する意識調査 - (その2)

大学生の身体活動量と身体的特徴、健康 体力の自己評価、運動経験との関連」

#### 研究誌の発行

大学保健体育研究 第28号(平成21年3月発行予定)

#### その他の事業

##### 協賛事業

名古屋市教育委員会スポーツ振興課

(財)名古屋市教育委員会スポーツ振興事業団

健康 体力づくり実践相談 講師派遣

以上

## 平成 20年度北陸支部 事業報告

### 基本方針

研修会を通して新しい大学体育授業の展開について考える。

### 総会等会議

1. 第 4回中央研修会実行委員会  
期 日：平成 20年 4月 2日 (火)  
場 所：富山県立大学健康科学実験室  
議 題：平成 20年度中央研修会 開催要項」の内容について  
実行委員と役割分担について  
講師との事前打合せについて  
予算について
2. 第 5回中央研修会実行委員会  
期 日：平成 20年 7月 13日 (日)  
場 所：弥陀ヶ原ホテル  
議 題：平成 20年度中央研修会 開催要項」の内容について  
実行委員と役割分担について  
講師との事前打合せについて
3. 中央研修会実行委員会反省会  
期 日：平成 20年 11月 8日 (土)  
場 所：立山国際ホテル  
議 題：平成 20年度中央研修会の開催を振り返って
4. 平成 20年度理事会 総会  
期 日：平成 20年 3月 13日 (金)  
場 所：富山県立大学健康科学実験室  
議 案：1) 報告事項  
平成 20年度北陸支部事業報告  
その他  
2) 協議事項  
平成 20年度収支精算書 (案) について  
平成 20年度事業計画 (案) について  
平成 20年度予算案について

### 研修会等事業

1. 平成 20年度大学体育指導者中央研修会  
テーマ：山を歩く - 大学体育の多様性と豊かさを実現する場として -  
開催期日：平成 20年 8月 19日 (火) ~ 21日 (木)  
開催会場 (メイン) 立山国際ホテル  
実技研修会場 立山 (雄山) 室堂 弥陀ヶ原周辺  
宿泊先 立山国際ホテル
2. 平成 20年度北陸支部夏期研修会  
上記 1) との合同開催

## その他の事業

### 1. 平成 20年中央研修会事前研修会

テーマ：山を歩く- 大学体育の多様性と豊かさを実現する場として -

目的：中央研修会の開催を前に、講師と実行委員会メンバーとで実際に研修ルート歩き、研修内容を確認する。

期日：平成 20年 7月 13日 (日)

会場：天狗平～一の谷 獅子が鼻～弥陀ヶ原ルート

参加者 講師 3名、実行委員 13名、合計 16名

研修内容：天狗平～一の谷 獅子が鼻～弥陀ヶ原ルートを歩く。参加者を3班に分け、ルートの安全確認、植物の名称等について研修を行う。

以上

## 平成 20年度近畿支部事業報告

1) 7月 19日 京都大学

理事会、総会、講演、懇親会

理事会、総会の内容

平成 19年度行事報告

平成 19年度決算報告

平成 20年度事業計画

平成 20年度予算案

その他

講演

タイトル： D.クramer氏との石間

サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士へと育てるスポーツである

講師 河端隆志 先生 (大阪市立大学准教授)

< 講演抄録 >

D.クramer氏との石間

サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士へと育てるスポーツである

2008年 3月 14日、関西国際空港のゲートより一人のドイツ人がパートナーと共に降り立った。フランネルの帽子を深く召している小柄な老人こそ、日本サッカー界育ての父であるデットマールクramerその人である。 齢 87歳にして矍鑠 (かくしゃく) としていたちは、小柄ながらその場を飲み込むに十分な魅力をかもし出している。右足の膝が悪いのか歩くときに不自由そうにゆっくと、しかししっかりと歩姿はこれまでの彼のストーリーを直観で感じさせるものであった。クramer氏を今回招いた理由は、1966年に初来日し当時の若い日本のサッカー選手に伝えたかったことが、今日の日本サッカー界に伝承されているのかどうかについてあらためて検証するためであった。

今回はクramer氏との石間のなかでのサッカーというキーワードを通して「人が育つこととは」について、当時の話や現代のヨーロッパサッカー界の問題点など、銅メダルを獲得した岡野俊一郎氏、松本育夫氏、釜本邦茂氏、片山洋氏などの証言と合わせて紹介します。

2) 8月 28日 ~ 8月 29日

夏期研修会 (東海地区と合同研修)

平成 20年度の近畿地区と東海地区の合同夏期研修会は、8月 28日、29日の1泊2日の日程で、琵琶湖にてマリンスポーツをテーマとして開催された。近畿地区からは6名、東海地区から2名の合計8名の参加者があった。

8月 28日正午にびわこ成蹊スポーツ大学へ集合し、琵琶湖へ移動したのち、全体での開校式とオリエンテーションが実施された。

その後、実技研修をおこなう前にマリンスポーツ実習の意義や琵琶湖の自然に関するレクチャーがびわこ成蹊スポーツ大学の中野先生よりおこなわれた。

引き続き、日本福祉大学の小林先生より実際に大学で実施されているマリンスポーツ実習の概要が紹介され、単なる体育実技の枠を越え、環境教育やコミュニケーション実習としての意義について確認することができ、有意義な情報交換



ができた。

今回の研修会はボードセーリングとカヤックの2つのコースから構成されており、ボードセーリング研修への参加者は5名であり、カヤックへの参加者は3名であった。

ボードセーリング研修には初心者から経験者まで様々な技術レベルの方が参加したが、びわこ成蹊スポーツ大学の黒澤先生による指導の下、充実した技術および技術指導の研修が実施された。琵琶湖に入る前に、ボード技術の理論的な背景について解説がおこなわれ、陸の上での実技指導がなされた。その効果もあって、初日は3時間程度の実技研修であったものの、全員がセールアップし、風を感じながら進むところまで到達することができた。最初は姿勢を崩して、水の中へ落ちること多かったが、次第と慣れ、かなり沖まで出る者もいた。

カヤック研修は中野先生の指導の下、パドルの使い方、転覆したときの回復方法などの研修の後、琵琶湖を回り、琵琶湖を見下ろす山々の景色や浅瀬での水中の様子などを観察し、野外活動ならではの自然を感じることができた。

宿舎に戻った後、マリンスポーツを始めとする野外活動や大学体育を取り巻く現状についての情報交換会が実施された。また、水辺で発生しうる事故などについて改めて認識をしなおし、今後の実技指導において安全に実施されてはじめて充実した実習となることを確認した。

2日は朝9時より実技研修が開始され、各自の課題に取り組みつつ、3時間程度程度の研修が実施された。

この2日間を通して天候に恵まれたこともあり、非常に有意義な研修を行うことができた。また、大きなけがや事故も発生することなく無事に研修を終えたことはびわこ成蹊スポーツ大学の先生方の力あってのことだと考えられる。

文責 来田

宣幸 (京都工芸繊維大学)



### 3)12月26日～12月27日

#### 冬期研修会 (東海地区と合同研修)

平成29年度大学体育連合近畿・東海地区の冬期研修会は、昨年に引きつづき東海地区のお世話で岐阜県平湯温泉に集合して開催された。

12月26日正午に平湯温泉の宿舎に集合し、全体での開校式とオリエンテーションが実施された。その後、平湯温泉スキー場へ移動し、早速、初日の研修が開始された。

今回のスノースポーツ研修はスキー研修とスノーボード研修の2つのコースから構成された。

スキー研修には、初級者から上級者まで様々な技術レベルの方が参加したが、SAプロモンスターである佐野弘史氏、宮原祥予氏による指導の下、充実した技術および技術指導の研修が実施された。

実技研修 1日目は平湯温泉スキー場にて実施され、実技研修 2日目は朴ノ木平スキー場にて実施された。午前2時間、午後2時間の実技研修が終わってから、スキーを選択した受講者のうち希望者がバッチテストを受検し、受験された方は1級、2級に合格した。第2日目は夕食の後、スキー場にて撮影した映像を用いて講師の先生より個別の技術指導が全体に向けて実施され、自身の技術向上に、また、指導力向上に大いに役に立ったと考えられる。実技研修 3日目は、再び、平湯温泉スキー場にて実施され、スキー研修およびスノーボード研修ともに最後のまとめとして3時間程度程度の研修が実施された。

研修会が開催される直前まで雪が不足しており、心配された。また、初日の寒波や2日目の会場までの大雪などによって、影響を受けた者もいたが、研修会に合わせたかのような降雪によって、充実した研修会を無事に終了することが

できた。大きなけがや事故も発生することなく無事に研修を終えたことは講師やデモンストレーターの方をはじめ、裏方として支えていただいた東海支部の方々の力あってのことだと考えられ、非常に有意義な研修会であった。

文責 来田宣幸 (京都工芸繊維大学)

#### 4)2月 21日 (土) 京都大学

##### 理事会、総会

次期支部長の交代について

次期支部長は、平井富広先生 (大阪産業大学) に決定した。

平成 20年度行事報告

平成 20年度精算報告

全国理事選出 (4名)

平井富広 (大阪産業大学) 小田伸午 (京都大学) 板東隆男 (大阪大学)

柳田泰義 (神戸大学)

その他

近畿支部会規約の改正

(第 5 条) 役員の任期を 5 年から 4 年に改める

##### 講演

タイトル：追い続ければ夢は叶う - 挑戦し続けた 20年 -

演者 朝原宣治 (大阪ガス)

北京オリンピック男子 400mリレー 銅メダリスト



自然体で体験談を語る朝原さん



朝原さんを囲んで

講演は一般公開にして、大学体育連合の先生以外に、現役高校、大学陸上部員もまじえてトータル120名の参加者を得た。北京オリンピックの400mリレーの銅メダルの秘話に始まり、ご自身の競技の中で得た浮き沈みの過程に位置づけられながら語られる具体的なお話の一つ一つは、時間の経過を忘れさせ、聴衆の心を捉えた。

以下に、朝原さんのところとから飛び出したいいくつかのことばをしるすこととする。

- ・ 一流選手というのは揺るぎない動作感覚をみなそれぞれ持っている。だから何回でもハイパフォーマンスが出せる再現性がある。高い再現性のみなもとは感覚だ。
- ・ 陸上競技は、自分で考え、自分の感覚を自分で見つけるもの。
- ・ 世界で本当に強いスプリンターとは、世界選手権やオリンピックで勝つだけでなく、ヨーロッパの賞金レースに転戦して勝つ人であり、自分もそういうスプリンターのヒトの集まりの中に入って自分を磨きたかった。
- ・ 怪我をして再度挑戦するには、新しい自分の走り、新しい自分の感覚を創りだすしかなかった。
- ・ 日本人選手ほど感覚の話をする民族はいない。黒人トップ選手などは、コーチから見た目の動作の指導を受けて、あとは感覚の話はしない。黒人選手に接地の感覚の話などをして誰もわかってくれなかった。だれも感覚をことばにする人はいなかった。われわれに日本人は、コーチとも、選手間でも感覚を研ぎ澄ますために感覚の話をする。日本が世界に通用していくには、感覚路線でいくことが重要ではないか。
- ・ 最近、手足の感覚ではなく、体幹の感覚になってきている。
- ・ 陸上競技とは、眠っている自分の才能を引き出すことだと思ふようになってきた。最近、才能を引き出すことを楽しむようになってきた。
- ・ 才能を引き出すには、人間としての幅が必要だと思ふ

朝原さんの自然体の話を聞いて、会場から次々に質問が飛び出した。高校生陸上部員も積極的に手を挙げて質問をしていた。場が盛り上がり、時間半の予定が30分オーバーして終わった。多くの感動と日本スポーツ界への大

きな示唆を与えてくれた時間であった。このような社会貢献も大学体育連合の今後の役割と思える有益な講演であった。

以上

## 平成 20年度 中四国支部事業報告

### 1) 事業報告

#### 研修会 1 (実技: バスケットボール指導者研修会)

日時 1日目:平成 20年 8月 2日 (土)13:00- 16:00  
2日目:平成 20年 8月 3日 (日) 9:00- 12:00

場所 岡山大学 第 2体育館

講師 1.網野 智雄 (A ISN SeaHorses)  
2.柏倉 秀徳 (三菱電機 Diamond Dolphins)  
3.鷓澤 潤 (三菱電機 Diamond Dolphins)

補助 指導対象 岡山大学バスケットボール部部員、岡山一宮高校生

#### 研修会 2 (講演会:日本体力医学会中国四国地方会との共催)

日時 平成 19年 11月 10日 (土)13:05~ 14:20

場所 広島大学教育学部

1)平成 20年 11月 22日 (土)17:15- 18:15

講演題目 姿勢制御と筋シナジーについて」

講師 浅賀 忠義 先生 (北海道大学保健学研究院)

2)平成 20年 11月 23日 (日) 8:15- 9:30

教育セミナー 最新動作解析システム講座

### 2) 主な会議

・支部理事会 総会 (予定) 日時 平成 20年 3月 7日 (土)11:00- 13:00

場所 岡山大学スポーツ教育センター

協議事項

- 1)平成 20年度事業報告、会計報告について
- 2)支部役員 (支部長、副支部長、支部理事、監事)の改選
- 3)平成 20年度夏期中央研修会について
- 4)平成 20年度事業計画、予算等
- 5)その他

### 3) その他の事業

夏期中央研修会 (富山県立山)への次期開催の下見を兼ね、2名を派遣した。  
(平成 20年 8月 19日 (火)- 21日 (木))

平成 20年度夏期中央研修会の準備 - 山口大学

研修会内容、研修施設等をほぼ決定し、順調に準備を進めている。

以上

## 平成 20年度 九州支部事業報告

### 総会会議等

#### 1.理事会

- 第 1回理事会 平成 20年 6月 21日 (於 福岡国際大学)
- 第 2回理事会 平成 20年 9月 1日 (於 久留米大学)
- 第 3回理事会 平成 21年 3月 15日 (於 長崎県立大学佐世保校)

事務局 (太宰府地区) 打ち合わせ会議 平成 20年 5月 24日 (於 福岡国際大学)

企画委員会 平成 20年 8月 18日 (於 福岡国際大学)

メール会議 平成 20年 11月 27日 ~ 12月 2日

#### 2.総会

期日 平成 21年 3月 15日

場所 長崎県立大学佐世保校  
(長崎県佐世保市川下町 123)

### 研修会等事業

#### 1.春期研修会：「体育・スポ - ツ 健康に関する教育研究会議」

期日 平成 21年 3月 15日・16日

場所 長崎県立大学佐世保校  
(長崎県佐世保市川下町 123)

### その他の事業

- 1.「体育・スポ - ツ教育研究」第 9巻第 1号の発行  
平成 21年 3月 (発行)
- 2.研究助成金制度の審査及び運営
- 3.九州体育連合へ加盟促進
- 4.スポーツ活動報告書の発刊
- 5.2008年度大学 短期大学の保健体育教育情報調査

以上